

房総半島の第四紀テフラのジルコンLA-ICP-MS U-Pb年代

Zircon LA-ICP-MS U-Pb dating on some Quaternary tephras in Boso Peninsula

*伊藤 久敏¹、七山 太²、中里 裕臣³

*Hisatoshi Ito¹, Futoshi Nanayama², Hiroomi Nakazato³

1.財団法人電力中央研究所、2.国立研究開発法人産業技術総合研究所、3.国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

1.Central Research Institute of Electric Power Industry, 2.National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, 3.National Agriculture and Food Research Organization

房総半島に分布するいくつかの第四紀テフラを対象にLA-ICP-MSによるジルコンのU-Pb年代測定を行った。これらのテフラは第四紀更新世前期・中期境界の国際模式地の候補地とも関連があるため、正確な年代測定を行う意義は大きい。最近、房総半島に分布する松山-Brunhes (MB) 境界直下のテフラを対象にSHRIMPによるジルコンのU-Pb年代として 0.773 ± 0.007 Maという高精度な年代が報告された (Suganuma et al., 2015)。今回、MB境界より上位にある二つのテフラ (Ks11, Ch2) から高精度なジルコンU-Pb年代として、Ks11から 0.52 ± 0.04 Ma, Ch2から 0.61 ± 0.02 Maが得られた。これらは層序から推定される年代とも一致していることから、信頼性の高い年代であると考えられるとともに、日本や世界の更新世の年代層序の確立にも貢献することが期待される。

キーワード：U-Pb年代測定、ジルコン、テフラ、松山-ブリュンヌ境界

Keywords: U-Pb dating, zircon, tephra, Matuyama-Brunhes boundary